

# 巻頭言

吉田 正生



## ■フェイスブックのこと

「研究室の窓からみえるスカイツリーがずいぶん高くなってきました。月日の経つのは早いものだなあと思う一方、みなさんもあのように着実に天に向かって伸びているんだなあと思われました、4年生の卒論を読んで。……そして3年生の場合には、「社会科論を学んで」という文章を読んで」。

こんな文章を書いたのが2年前。ですから平成23年の1月か2月のことです。文教大学社会専修の学生の私に対する評価もほぼ固まったようです。あまりうれしくはありませんが、「怖い先生」「厳しい先生」というものであるようです。平先生の発言からこのように結論しましたが、間違っているでしょうか。

この間、社会専修の先生たちが平先生のために一席設けました。その席で「うちのゼミ生の間では吉田先生が、フェイスブックを始めたって評判ですよ。お友達になるの、どうしようって言ってるので『怖くないよ。大丈夫。申し込んでご覧』って言ってるんですけどね」という感じのことを平先生が話してくれました。まあ、それはそれでよしとして。

## ■馬酔木のこと——すごい本から

フェイスブックよりも自分としてはブログの方に力を入れているのです。でも時間がとれず、なかなか書けません。歴史教育、植物、身辺雑事、伝統・文化など4つか5つのテーマを設けて、暇を見つけると書くようにしています。植物というテーマを書くために、数冊、本を買いました。田中修という方が書いた『植物はすごい』（中公新書）は、本当にすごい!!!みなさんが先生になるつもりなら、ぜひ読んでほしい本だと思いました。

なにがすごいか。たとえば、馬酔木の話です。「馬酔木」あるいは「馬酔木」と読みます。ツツジ科の花で春になると白いきれいな花をつけます。淡いピンクの花をつけるものもあります。花言葉は「献身」とか「犠牲」、「いつもあなたと一緒に」だそうです。なぜ、こんな漢字を書くのでしょうか。およそ当て字ですよ。その理由は、この木（の葉）を食べた馬が、酔っぱらったようになるからです。本当は酔っぱらっているのではなく、アセボトキシンやグラヤノトキシンという毒のために体が麻痺しているのです。



### ■ 馬酔木の思い出

私が馬酔木という花の名前を知りなぜこんなに鮮明に憶えているかと思うときに家内に教えてもらったのが

私は、東京は大田区の工場地帯の木を植えている家がない（あったとしてもそういうお屋敷には入れない）という環境で育ったので、ろくに木の名前も花の名前も知らなかったのです。家内の家も馬酔木があったわけではないのですが、万葉集だか何だかにその花の名前が出てきたので調べ、奈良公園に大学生の時に来て実物を見て知ったらしいのです。

（ああ、いい人と結婚した）というのが馬酔木を教えてもらった時の正直な感想です。

（なんと単純な）と思われるかもしれませんが、まあ、それだけでなく、會津八一という歌人のことを教えてもらったり、山の辺の道について話をしてもらったりで、教養のある人だなあと思っていたからでしょうね。

ちなみに會津八一とは、「歌人，書家，美術史家。秋艸道人（しゅうそうどうじん），渾齋（こんさい）の号も用いた。新潟市に生まれ，早熟の天才ぶりを發揮し，中学時代すでに新聞俳壇の選者」になっていたというような人です。奈良をこよなく愛し、「南京叙唱」などという歌集を残しています。それは私の好きなもので、机の傍にいつもおいてあります。疲れるとそっと開いてみるということをやっていたのですが、最近はそんなことすらできないような忙しい身になってしまいました。

### ■ 再び馬酔木のこと——すごい本から

奈良公園には馬酔木が多いのです。なぜでしょう。きっと他の花卉もあったのですが、鹿に食べられてしまった、と「すごい本」はいうのです。馬酔木は先ほど述べたような毒があり、馬を痺れさすぐらいですから、鹿も食べれば痺れてしまいます。だから、食べな

かったのです。そして、現在、馬酔木が奈良公園のあちこちで可憐な花を咲かせて私たちの目を楽しませてくれているのです。

ここまでなら、ああ、そういうものか（まあ、それだけでもすごいのですが）で終わってしまうのですが、「すごい本」がすごいのは、まだまだ他の毒を持った身近な花卉を教えてください。

夾竹桃（きょうちくとう）は、毒を持っている花卉として有名なので驚きませんが、紫陽花（あじさい）の葉が毒を持っていると書いてあるのでびっくりしました。結構有名なレストランだか料亭だかで、季節感を出すために紫陽花の葉をつまのように添えて出したそうです。皿の上に乗せて出されたので、お客は食べられるものだと考えて食べたら中毒症状を起こしたそうです。

紫陽花の葉には青酸系の毒が（微量ですが）含まれているのだそうです。



八柱霊園に行く途中にはユーカリの並木があります。ユーカリの葉はコアラが食べるものとして有名ですが、やはり青酸が含まれていて、他の動物が食べると中毒症状を起こすそうです。ではなぜ、コアラは平気なのか。「すごい本」はすごいですよ。説明してくれています。コアラには腸内細菌がいて、それが無毒化してくれるのだそうです。生まれたばかりの子どもコアラはこの腸内細菌を持っていませんから、お食い初めは親の「糞」だそうです。さらに、親の肛門の回りをなめまわすそうです。「すごい」ですね。

## ■ 生活科のこと

なぜ、こんなことを書いてきたのか。不思議でしょう？実は、生活科の指導、大丈夫ですかって、みなさんに訊いているのです。生活科で、身近にあるものを食べさせたりするときには、よほどきちんとした知識が必要です。

よく「タンポポコーヒー」をつくったりしますよね。身近な野草を食べることは楽しいものです。生活科ではぜひ、やりたいですよ。でもニラの若い芽と水仙の若い芽を間違えて食べさせると大変なことになります。水仙の葉にはリコリンという（彼岸花にも含まれている）有害な物質が含まれているからです。

ついでに彼岸花について田中さんが書いていることを紹介すると、田のあぜや墓場に彼岸花がよくみられるのはそれなりの理由があるそうです。彼岸花は球根で増えていく植物ですから、自然にそういう場所に広がっていったと考えるのは間違いだそうです。人間が目的があって植えたものだというのです。

どんな目的か。まず、墓場から。昔は土葬でした。そうすると、埋葬した遺体をモグラやネズミが食べに来ます。そうした動物を寄せないために、リコリンという毒を持った植物を植えたのだそうです。他のあぜの場合、これもモグラ等に壊されることを防ぐために、彼らが嫌がる彼岸花を植えたのだそうです。

ぜひ、田中さんの本を読んで、植物に強い先生になって、楽しい生活科をやってください。そんな願いを込めて、ここまで書いて来ました。



## ■ 4年生へのメッセージ

最後に、先生になる前の3月に読んでほしい本を2冊だけ挙げておきます。

- 1) 向山洋一（編著）『学級崩壊からの生還』扶桑社、1429円（でも私は古本で1円くらいで手に入れています）

教師をめざすものにとってこの本が1円というのは不当に安いけど、逆にいえば入手しやすいので、ありがたい。子どもが大好きで、優しくて、子どもとお友達になりたいと思っている人はもしかすると、小学校低学年の学級すら崩壊させるかもしれません。何しろ、子どもは天使ではありません。人間ですから、いい面も悪い面もしっかり持っていて、小学校2年生ですら「俺はこんな学校は嫌いだ」と言いますし、何度も指導されながら、一向に宿題をやって来ないなんていう子だっているのです。

学級を崩壊させないためにはどうすべきか。崩壊してしまったらどうすべきか。生々しい経験談から、たくさんのヒントを得ることができます。この本を読んで、ストラテジーとタクティクスを習得して、子どもの指導に当たってみましょう。それでも崩壊したら？あなたはよほど教師という職業に向いていないのです。転職しましょう。

- 2) 吉田正生『社会科教授用図書におけるアイヌ民族関係記述の生成と展開』風間書房、14000円。

高くて悪いのだけど、（教科教育、特に社会科教育を学として学びたい。そしてそれを自分の専門にしたい——地理学とか歴史学でなく——）という人にはぜひ読んでほしいものです。特に現場に出ると、明日の授業をどうするかということに追われます。おそらく5月いっぱい明日の授業のことを考えるのさえ、大変という日々が続くかもしれません。だから学校教育の場に出る前にぜひ読んでほしいのです。そもそも教科教育って何か、教科教育独自の教科書研究法っていうものがあるのかなど、私が20年くらい考え続けてきたことが書いてあります。ぜひチャレンジしてみてください。アイヌ民族関係記述だけでなく、教科書記述というものがどうやって出来上がってくるものなのか、ということも見えてくるはずですよ。

本当の最後です。4年生に一言メッセージを。

- ・大塚さん、先生は子どもたちの太陽だということを忘れないように。やさしい子どもたちが育つクラスをつくってくれると信じています。
- ・清家さん、教材研究より **gokonn** という教師人生を送らないように（そんな風になるはずないか）
- ・関根君、ローソンをつぶさないように。企業は実績を数字で求められる世界かもしれません。めげないように。
- ・中込さん、長生きしよう！遠回りするのも人生だろうけど根無し草にはならないように。
- ・山崎さん、いつも笑顔をありがとう（まあ、他の女性も同じだけど）。どんなに私にいられても動ぜず、しかも優しく流してくれてありがとう。
- ・山本君、関根君と仲良くなってくれてありがとう。まだまだまともではないけれど2年生のころに比べたら格段の進歩で、だいぶ「善良な市民」に近づいてきたよね。



